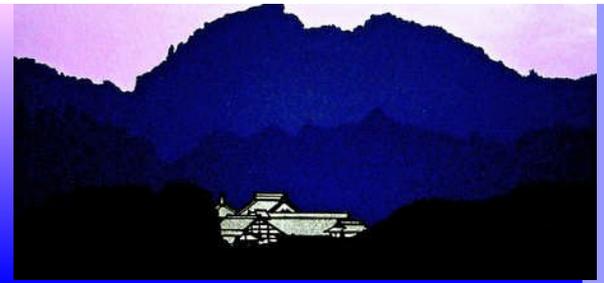


井の国歴史懇話会報

VOL10

発行：井の国歴史懇話会事務局 発行日 平成27年9月10日



井伊直虎(次郎法師)がH29年NHKの大河ドラマに！

既に新聞紙上などでご存じの様にH29年のNHKの大河ドラマは井伊直虎と決定しました。

直虎(次郎法師)は浜松市でも知る人の少ない人物です。女性は歴史の表舞台になかなか登場しませんが、男性が絶えた井伊家を、知恵と負けん気で守り抜き、後に徳川家康の四天王となる直政・幕末の大老として知られる直弼へと子孫を繋ぎました。

『「男」を名乗って城を守り、戦国を生き抜いた異色ヒロインに挑む、主演の柴咲コウさんは「自分の生き方と似る部分、まねしたい部分が沢山あり光栄です」～日刊スポーツより』

井伊家の危機を救ったおんな城主

いすなおとら
井伊直虎

◆父：井伊家22代 いすなおもり 井伊直盛

◇母：新野左馬助親矩にいのさまのすけちかのり妹(祐椿尼・松岳院)

井伊直虎(次郎法師)は、井伊家代22代当主・直盛の一人娘。

直盛には男子がなく、早くより従兄弟の井伊直親を許婚として家督を継がせる予定であった。ところが1544(天文13年)直親の父・直満が今川義元に殺され、自身も命を狙われたため直親は信州市田(長野県高森町)松源寺に身を隠した。

直虎は悲観し、龍潭寺で出家し次郎法師を名乗る。1555年(弘治元年)、直親は井伊谷に戻り、直盛の養子となり奥山朝利の娘と結婚。

1560年(永禄3年)、桶狭間の戦いで直虎の父・直盛戦死。井伊家の家臣多数死亡し大きな損失を被る。

1561年(永禄4年)、2月井伊直政誕生。家督を継いだ23代直親、岡崎の松平元康(家康)と反今川で内

通する。

1562年(永禄5年)、直親が掛川城下で今川の手で謀殺されると井伊家は存続の危機に。

翌年、20二十代直平死去。翌々年、城代家老中野信濃守曳馬城攻めで戦死。井伊の名を継ぐ男子は、四歳の遺児虎松(24代直政)ただ一人となる。

1565年(永禄8年)龍潭寺南溪和尚の計らいで次郎法師は後見人として井伊直虎と名乗り、次郎法師と虎松 © 光山房女領主となり井伊家を支えた。

井伊谷徳政令の難題に対し優れた政治手腕を発揮した。直虎は歴代当主に記名はないが、受難の井伊家を支え見事にお家を再興した。直虎は後世に語り継がれるおんな城主である。

鳳来寺に身を隠していた直政を1575年(天正3年)浜松城主家康公に仕えさせ、出世を見届けた直虎は、1582年(天正10年)激動の人生に幕をとじる。

墓は龍潭寺境内、直親の隣に眠る

コラム

NHKの発表後、龍潭寺には全国から反響がありました。浜松市ですら直虎の事を知らない様子で、ただ今龍潭寺は嬉しい悲鳴の最中です。

ここ数年NHKの大河ドラマは男性・女性の主役が交互に放映されていますが、女性が主役の場合不評の場合が多いです。井の国歴史懇話会会員の皆様、彼女の大応援団になってPRをお願いします



6月井伊直孝生誕の井戸訪問

梅雨入り間際の6月9日、現地研修を実施いたしました。

予定より1時間遅れの出発となってしまいました。井伊直孝出生の井戸のある、焼津市中里の若宮八幡社に到着いたしました。現地では地元の顕彰会の皆様・市議員・自治会長さんたちにお迎えいただき、到着を待って例大祭が始まりました。我々も例大祭参列の栄に浴くしました。昨年秋、顕彰会役員が焼津市長と一緒に龍潭寺を拝観され、歓待を受けたお返しに企画をして下さり、今後とも井伊谷と焼津が井伊家のつながりで歴史の縁を結びたいとの意向だそうでした。誰もこんな歓迎を受けるとは思わず、ただ々びっくりしました。



昼食後掛川城にて掛川市のボランティアガイドの方々より丁寧な説明を受け、当時の城主の気持ちになり、天守閣からの眺めをめめました。

その後、十九首塚(じゅうくしゅづか)に到着。ボランティアガイドさんの説によると『掛川市の説明文によると平家の落人の首塚と表記してあるが、これは間違いなく23代直親一行が駿府からの帰りに惨殺された場所である』と力説されておりました。確かに直



親とともに殺された家臣は19名…。これも歴史のロマンかな？

最後に袋井市の貫名山妙日寺に移動。平安時代に井伊家が貫名・赤佐・奥山の3つに分かれた頃からの寺で、貫名山という立派な山号が本堂正面に飾られています。日蓮上人の父「貫名重忠」が袋井から千葉に移り、そこで生まれたのが日蓮上人だそうです。不思議な関係を改めて感じました。

井伊家の長い歴史の中で、この地域の表に出ることの少ない記憶を感じることができ、新たに歴史の勉強の意欲がわいてきました。

27年度の予定 (敬称略)

10月7日(水) 7時30分集合

現地研修 「龍潭寺閑栖和尚と巡る旅」
～関ヶ原の合戦 井伊直政の足跡を巡る～
講師 鈴木一夫

行程 大垣IC.～南宮大社～桃配り山～
～井伊直政本陣跡～昼食～関ヶ原町民俗資料館
～岡山(丸山)烽火場～石田三成本陣跡～開戦地
～大谷吉継陣跡～関ヶ原町民俗資料館
～島津豊久石碑～関ヶ原IC

参加費 7,000円 (非会員は+¥500)

申し込み 9月30日締め切り(先着順25人まで)
同封のハガキにて申し込みください。

1月中旬

・講話 「井伊直政と高崎」
～直政の足跡を辿る～
講師 武藤全裕

2月14日(土)

現地研修 「龍潭寺住職と歴史にふれる旅⑤」
・涅槃図巡り

徳川家康公顕彰400年記念事業関係

9月26日(土)18:00

和歌劇 「悲劇の女地頭 井伊直虎」
歌枕直美 会場 龍潭寺本堂

11月7日(土) 14:30開演16時半終演

浜松市博物館特別展「筑川家康 天下取りへの道
家康と遠江の国衆」 記念講演会
「家康と井伊直虎 一躍動する遠江の「国衆」たち」
講師 夏目琢史

会場 みをつくし文化センター大ホール

定員 450名(往復葉書にて要申し込み・応募者多数
の場合は抽選)